

体験活動推進コーディネーター紹介



主な経歴・資格
（2014年）内閣府「子どもと家族・若者応援団表彰」内閣府特命担当大臣賞受賞

（2015年）文部科学省「日独青少年指導者セミナー」派遣団員
キャンプディレクター1級
（日本キャンプ協会）

所属団体・役職
特定非営利活動法人 KID's work 代表理事

専門分野
自然体験、生活体験、プロジェクト型活動、ボランティア養成、その他（小学生を対象とした体験活動全般）

対応地域
北九州/筑豊

支援内容
◆子どもたちの「考える力」「決める力」「行動する力」を育むことを目的として、キャンプ（長期/短期・防災などの目的別）、野外活動や通学合宿など子どもの体験活動の企画全般をお手伝いします。
◆こうした事業の卒業生（中高生）に対してキャンプスタッフとして研修を行い、活動の企画立案や運営をしてもらうことを通して、次世代育成を行います。

URL・SNS
<https://kidswork.jp/>   

コーディネーター事例

事業名	にれの木坂交通安全ワークショップ
実施時期	2023年3月～7月（全5回）
対象	小学生4～6年生 約10名
内容	にれの木坂団地内の交通安全について実地調査を行い学び、考え、その成果を道路標示として町内の必要なところに設置する 1回目：オリエンテーション/交通安全について 2日目：現地調査をする 3回目：にれの木坂団地のあぶないところMAPをつくる 4回目：道路標示のデザインを考える 5回目：道路標示を書いてみる
関係団体	にれの木坂団地（北九州市小倉南区） / 小倉南区役所コミュニティ支援課 吉田市民センター / 小倉南区まちづくり整備課 / 小倉南区警察署 / 小倉東高校

コメント

コーディネーターとしては、ワークショップ全体の構想を考え、それをまとめ関係団体のみなさんに共有することからはじまりました。

また、各回の事業後に町内会長さんや市民センター館長さんと打ち合わせを繰り返し、事業の進め方の調整を行いました。

1、2回目に小倉南区警察署、4回目の講師にまちづくり整備課の担当者の方にそれぞれ講師として立っていただきました。

5回目は、市民センターの敷地内にあるアスファルトの部分にチョークで子どもたちがそれぞれデザインした道路標示を書きました。

ワークショップは5回で終わったのですが、これをどのように具体的に落としていくのか？

またそのプロセスをどのように子どもたちといっしょにやっていくか？

こうした点も引き続きコーディネーターの立場で関わっています。

体験活動推進コーディネーター紹介



主な経歴・資格

- 全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会
自然体験活動指導者 (NEAL リーダー)
- 公益社団法人日本シェアリングネイチャーゲーム協会
ネイチャーゲームリーダー
- 河川環境管理財団 プロジェクトWET エducator
- 一般財団法人公園財団
Growing Up WILD シニアエドゥケーター
プロジェクトWILD “Bird” エドゥケーター
- NPO 法人こころの子育てインターねっと関西 NPファシリテーター
- NPO法人子育てひろば全国連絡協議会地域子育て支援士一種
- 民生委員 (2011-2019) 保護司 (2017-)

所属団体・特定非営利活動法人あそびとまなび研究所

役職 理事長

対応地域 福岡／主に北九州周辺 県内全域

支援内容

- ◆0歳からの環境教育、SDGs「みちくさ」、多世代での自然体験活動などの企画 (事前準備や指導者、ボランティアスタッフ育成なども含む) なるべく通年とぎれることなく、多様な参加者と活動を継続することが原則。
- ◆「乳幼児フリースペースとサークル活動」「読み聞かせ」「子供食堂」「フードパントリー」「自然遊び」「親子育ち講座」「コンポストチャレンジWS」「ビーチクリーン」など小さいけれど、しっかり続く、子供たちとともに親も一緒に楽しむ活動を指導、企画。

専門分野

農学部出身で当時の専門は昆虫生態学と蜘蛛・微生物生態学。35年前に環境教育の先駆けを学ぶ。自然観察会フィールドワーク、竹や森の活動、海や川の水辺の活動など身近な自然の中で遊びながら学ぶ活動を継続。自然体験、食育、科学体験、異世代交流、ボランティア養成など「子ども達と現場で活動を通じて学ぶ」を基本に活動。職業として、食品や流通、教育コンテンツ作成などの経歴があり、子ども食堂や食ロス削減、コンポスト、海岸清掃などを、遊び心たっぷりに継続。大学内にある活動拠点[ひびきのbase]において学習支援、居場所づくり。最近の関心事は、「子どもフォースペース」「婚活」「育休おやじレスキュー」「ニートリーダー育成とその活用」。団体全体が、「リケジョ」集団で、活動のアプローチはかなり学祭的。未来の科学者教室、など0歳から、あらゆる取り組みの中に理系的思考や体験を散りばめて活動している。

URL・SNS <https://www.asobitomanabi.org/>

コーディネーター事例

事業名 令和4・5年度 北九州市子ども食堂開設促進事業(北九州市子ども家庭局子育て支援課委託事業)
令和5年度 NPO法人との協働によるプレーパークの実施 (// 青少年課)
未来の種事業 家庭教育学級他地域要望実現支援 (北九州市市民文化スポーツ局生涯学習課)
NPO活動体験プログラムボランティア受け入れ支援 (北九州市市民文化スポーツ局市民活動推進課)

プログラム事例として

防災とフードリサイクルクッキング講座 (親子、中高生、一般)

フードドライブとフードパントリー実施体験講座 (高校生向けのシリーズ事業実施)

竹100%コンポスト体験講座 (導入ワークショップからポスター作成、発表指導)

里山探検隊 竹取物語編

みちくさたんけんたい Growing up WILD 自然の中でフィールドワークをしよう

おえかきくらぶ 水彩画制作教室 自然物を描き展示、共有しよう

通学合宿、自然体験活動プログラムの実施 (団体キャンプのコーディネートなど)

うんどうあそびばをつくろう 運動や外遊びが苦手な子どもや若者のためのリハビリプログラム

里山や里海で指揮を通じて外遊びをする活動 繰り返し訪れるふるさと体験活動

子供参加者、親子参加者、中高生から、大人までのボランティアスタッフ養成

乳幼児フリースペース おそとあそび支援 チームビルディングや運営支援など

コメント

乳幼児を親と外へ出す、お父さんと一緒に外、や育休中のパパ向け企画は非常におすすめです。実際には、おばあちゃんと子供、というセットも多数見受けられます。子ども達の育ちに必須の自然の中で自由に遊ぶ、子どものサンマ「時間・空間・仲間」を補償し、ともにある大人や若者も育ち直しの機会を生み出します。乳幼児が対象の場合は、相談支援とセット、のような形も有効。親の不安改善と安定を活動を通じて図っていくことが子供の安心・安全につながります。



活動案内事例

もじ海里海探検隊
体験格差解消事業

北九州市青少年課発行キッズチャレンジ(夏・冬)掲載

市中全小学校へ配布

あそけんのHPをご覧ください
くとほとんどの活動は出前可能です。
フィールドやスタッフに合わせて活動を組み立てます。

視察も随時受け入れてます。

ボランティアスタッフ希望の学生など、支援者研修も随時実施。



もじうみ里海探検隊員募集中!

みんなで 海で あそぼう

2023年度★探検隊員募集中・お問い合わせ下さい **予約制** **有料**

もじうみ里海探検隊②もじ海編 火おこしと海塩作り

もじの海の水からおいしい塩を作ろう。

- 日時 令和6年1月6日①13:00~15:00
- 場所 もじ少年自然の家
- 対象・定員 0歳から参加可能・7家族程度調整。一人の大人が引率できる子どもは2人まで。保護者同伴
- 参加費 500円(大人も子どもも必要)+保険料100円(2歳未満は保険代のみ)

もじうみ里海探検隊③ 縄文土器づくり 炎の制作

- 日時 【成形】令和6年1月7日① ①9:30~12:00 ②13:30~16:00
- 【どき焼き】③令和6年2月11日①・②

- 場所 もじ少年自然の家
- 対象・定員 0歳から参加可能・10家族程度調整。一人の大人が引率できる子どもは3人まで。保護者同伴
- 参加費 1,000円(食事、材料などなしの2歳未満は保険代のみ100円)
- 注意事項 成形①または②選択

- 申込方法 基本事項② ハガキ優先。ハンディキャップ優先。専用サイトから申し込み可。
- 受付開始 令和5年11月15日①
- 注意事項 (5年生以上は子どものみ参加可能=事前研修、団体保険加入必須) 詳細は、申し込みサイトに掲載。1週間前までに参加の可否を連絡します。代表者以外に、参加する全員の名前と年齢を記入してください。
- 申し込み(問い合わせ) 特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所
〒808-0135 若松区ひびきの1-7北九州市立大学留学生会館1F北ひびきのbase
☎070-5495-6543



コーディネーター事例

活動案内事例

あそけん
ミニプレイパーク
もじプレパ はらっぱプレパ 2023

発行所

特定非営利活動法人
あそびとまなび研究所

毎週水曜 17:00 ~ 19:30
+ イベント開催時 OPEN

北九州市若松区ひびきの1-7
北九州市立大学ひびきのキャンパス
留学生会館1F北

ひびきのbase

みちくさひろば
乳幼児 屋外フリースペース

みちくさひろば

@ひびきの 無料

みちくさひろばの参加の予約、日時の確認もこちらから →

赤ちゃん・よちよちさん向けフリースペース。
体重計有、保健師相談ある日も。

場所 ひびきのbase **日時** 週1、月曜か水曜日の夕方

PLAY ASOKEN 北九州市子ども家庭局青少年課協働事業

Growing Up WILD

あそけん ミニプレイパーク

自由遊び、自然物でのあそび、観察して、いっしょにあそぼう!

もじプレパ

7/16 (日)

時間 13:00 ~ 15:00
場所 北九州市立もじ少年自然の家
(雨天実施)

はらっぱプレパ

10/21 (土)

時間 10:00 ~ 12:00
場所 北九州市立玄海青年の家
(雨天実施)

内容 自由遊び、自然物での遊び、観察など
対象 市内在住の親子。0歳から参加可能。原則保護者同伴。
大人1人につき、子ども2名まで。

※ 要予約とし、同意書への記入が必要。

主催 特定非営利活動法人あそびとまなび研究所 (略称: あそけん・ASOKEN)

会場は、小学校の自然教室や、中学校のふれあい合宿で使用
する研修施設内です。駐車場や持ち物などのご案内がありますので、
必ず事前のご予約をお願いします。

ボランティアについて

あそけんでは、ボランティア体験をしたい生徒・学生さんを募集しています。参加するみなさんには、事前に研修を受けていただきます。実りある活動にするために、ボランティアとしての心構えなどをレクチャーします。ボランティア証明書を希望する生徒・学生には、証明書の発行をおこないます。

予約はこちらから

MAP

TEL: 070-5495-6543
E-mail: contact@asobitomanabi.org

体験活動推進コーディネーター紹介



**所属団体・
役職** 一般社団法人TJC教育サポート
代表理事

対応地域 筑後地域、福岡地域
その他地域（福岡県内）は要相談

支援内容 ◆自然体験はもちろん、リーダーシップやコミュニケーションなどこれからの社会で必要な力を養うプログラムを企画、立案、運営いたします。
◆続いていくプログラムにするためのボランティア育成指導、教材の提供なども行います。

URL・SNS <https://tjc-es.org>

**主な経歴・
資格** ・幼、小、中、高教員免許
・社会教育主事任用資格
・福岡県魁大会基調講演講師
・未来の地域リーダープログラム
コーディネーター（全4地域）

専門分野 自然体験、交流目的、ボラン
ティア養成、アドベンチャープ
ログラム、リーダーシップ、コ
ミュニケーション

コーディネーター事例

事業名 未来の地域リーダー育成プログラム（嘉飯桂地域、南筑後地域、直鞍地域、京築地域）
実施時期 2023年8月～12月（全5日×4地域）
対象 中学生 約10～50名
内容

各市町村で未来を担う中学生たちが、各地の著名人を講和を聞いたり、体験活動をしたりして、自分たちの地域について深く考え、問題解決能力を培っていく。その中で、リーダーシップの講義やアドベンチャープログラムを担当し、全体のコーディネートを行った。

1日目：アイスブレイク、講義

2～4日目：体験活動、講義、グループワーク

5日目：グループ発表、個人目標発表

関係団体 福岡県青少年育成課/各市町村生涯学習課等/各中学校/

コメント

これまでに、市町村行政、学校、子ども会、体験活動施設、企業等、それぞれの要望に合わせて内容をコーディネートし、成果に結びつけてきました。目的がハッキリとしていない場合でも、お話をお聞きしながら一緒によりよい内容を作り上げていくことには自信がありますのでぜひお気軽にご相談いただけたらと思います。企画、立案、運営等、どこまでをお手伝いするかなども各市町村様の実態に合わせてご相談いただけます。

自団体で行っているさまざまな種類の体験活動（自然体験、防災キャンプ、マネーキャンプ、リーダーシップキャンプetc.）もありますが、企業研修などを行っている実績を踏まえ、体験型の研修も得意としていますので、ボランティアスタッフの養成等でもお役に立てることがあるかと思えます。ぜひ、これからの社会に必要な力を子どもたちや大人たちに身に付けてもらえるよう一緒に頑張らせていただけたらと思います。

体験活動推進コーディネーター紹介



**所属団体・
役職** 一般社団法人TJC教育サポート
理事

対応地域 福岡県全域（要相談）

支援内容

- ◆体験活動を通して、子どもたちが目的に応じて成長を実感できるような「教育効果」がある企画をお手伝いします。
- ◆楽しい+αの「教育効果」を仕組むことで、参加者やボランティアスタッフに「生きる力」や「地域の次世代」などの人材育成を行います。

URL・SNS <https://tjc-es.org>

**主な経歴・
資格**

- 福岡県小学校教員
- 全国小学校理科研究大会授業者
- 小中教員免許、子ども体験活動指導者、WMTC野外救急資格、TAP指導者講習修了、目標達成メソッド認定講師

専門分野 アドベンチャー教育、自然体験、科学体験、交流目的、ボランティア養成、その他（リーダーシップ、コミュニケーションなど）

コーディネーター事例

事業名	直鞍地域未来の地域リーダー育成プログラム（ちょっくら 未来づくりラボ）
実施時期	2023年8月（全3回）
対象	中学生 約10名（直方、宮若、小竹、鞍手の中学生）
内容	講義や見学、体験を通じた学習により、直鞍地域の魅力を知ること、 子どもの地域への愛着と誇りを深め、直鞍地域の将来を担う人材を育成する 1回目：オリエンテーション・グループワーク 福岡県立小竹高等技術専門校による職業訓練の体験、講義・ふりかえりワーク 2回目：アドベンチャープログラム 株式会社石橋製作所による講義・ふりかえりワーク JAMドローンスクール福岡によるドローン体験、講義・ふりかえりワーク 3回目：大和ハウス工業株式会社九州工場による体験、講義・ふりかえりワーク グループワーク、成果報告、グループ・個人発表
関係団体	ユメニティのおがた/福岡県立小竹高等技術専門校/ JAMドローンスクール福岡 大和ハウス工業株式会社九州工場/株式会社石橋製作所 福岡県庁青少年育成課/福岡県教育委員会/北九州教育事務所 直方市教育委員会文化・スポーツ推進課/宮若市秘書政策課、教育委員会社会教育課 小竹町教育委員会教育課/鞍手町教育委員会教育課

コメント

「教育効果」を視覚化して分析・共有できるように事業の始めと終わりでアンケートを実施しました。今回の事業を通して、「コミュニケーション力」「目標達成力」の向上が確認できました。その要因として、主に「アドベンチャープログラムをしたことによるお互いの中の深まり」「体験を通して学んだことを短い時間の中で発表するという目標が共通理解でき達成できていたこと」があげられました。また、関係団体さんと事業目的・内容を確認し、それに沿った教育的支援やファシリテートを行っていったため、様々な体験活動を通して学びを提供することができました。

体験活動推進コーディネーター紹介



主な経歴・ 資格

・(1983年)財団法人プレースクール協会プレイワーカー着任
・(2004年)福岡を拠点に中間支援団体としてスタート
・(2012年)PLAY FUKUOKAと改称
・(2009年～2023年)福岡市放課後等の遊び場づくり事業「わいわい広場」検討委員および推進委員として取り組みに参加。
・(2023年)福岡県体験活動推進コーディネーター着任
福岡県内外の、遊び場づくり・プレイパークのサポートおよび、子育て支援、プレイワーカー育成事業に取り組む。

所属団体・ 一般社団法人 PLAY FUKUOKA 専門分野
役職 代表理事 ・ プレイワーカー

- ・ 子育て支援
- ・ プレイワーク研修
- ・ 遊び場づくり
- ・ 子どもの居場所づくり

対応地域 福岡/北九州/北筑後/南筑後/筑豊

支援内容 ◆「遊びの本質・重要性を伝える」保護者や保育者や地域の方へ、子どもの育ちと現代の問題、生きる上で必要不可欠な遊びを、研修や実践を通じて理解を深める学びの機会を企画します。
◆「人を育てる」子どもに関わる学生や支援者を育成し、地域の遊び場・子どもの居場所の担い手へとつながる仕組みづくりのお手伝いをします。
◆「場をつくる」遊び場づくり・子どもの居場所づくりに取り組みたい個人・団体に対し、環境づくりの考案、子どもとの関わり方、企画のアドバイス等、実施・運営の支援を行います。

URL・SNS <https://www.playfukuoka.net>

コーディネーター事例

事業名 遊びで育つ子どもの心と体「プレイワーク研修会」
実施時期 2023年10月（全3回）
対象 地域で子どもに関わる全ての方 約40名
内容 子どもの育ちに重点をおき、遊びの意義や重要性、リスクマネジメント、遊び場づくり・子どもの居場所づくり（プレイパーク）の実践まで幅広く学び合います。

- ・第1回 『プレイワークの基礎・遊びの意義と重要性』
- ・第2回 『リスクマネジメント・危ないとの付き合い方』
- ・第3回 『遊び場づくり・居場所づくり（プレイパーク）実践』

関係団体 柳川市 / 子育て支援施設「このゆびとまれ」

コメント

中間支援コーディネーターとして、子どもに関わる支援者に対し、福岡県内外様々な地域で同様の「プレイワーク研修会」を開催してきました。地域や場所、対象者に応じた講座全体の構成や内容を支援者と共に調整段階から打合せを繰り返しながら実施へと導き、開催後も支援者の活動が持続できるように、継続した支援者支援を行っています。

柳川市では、「ハードだけでなく『遊び』を大切にすることを育みたいという」子育て支援者の声を街が受け「プレイワーク研修会」を開催。遊びの意義や重要性を理解した上で「実践・遊び場づくり・居場所づくり（プレイパーク）」を実施しました。市の事業として動き出したことで、街に点在していた志ある人や場が、講座によって集い、つながり、遊び場が街づくりの一つになろうとしています。講座をきっかけに、子育て中の保護者に向けた地域の幼稚園での研修会開催など、まち全体に広がりを見せています。*プレイワークとは：子どもが遊ぶことに関わる大人のあり方についての専門分野のこと。仕事として従事する人は、世界的にも「プレイワーカー」という名称で呼ばれています。



体験活動推進コーディネーター紹介



主な経歴・資格 映像制作、音楽事業、イベント企画制作の仕事を経て出産を機に育児サークル設立。2014年に法人化。

所属団体・役職 特定非営利活動法人Wing-Wing
代表理事

専門分野 自然体験、科学体験、文化芸術、交流目的、職場体験、その他（運動。取材体験。幼児～中学生向け体験全般。子育て支援）

対応地域 福岡/北九州／北筑後／南筑後／
※京築・筑豊は要相談

支援内容

- ◆子ども向け、保護者向けのイベント企画、運営相談
- ◆広報、SNSを活用した周知活動サポート
- ◆広報紙やチラシ、ホームページ、YouTubeなどの制作相談
- ◆対面とオンラインのハイブリッドでの活動をサポート
- ◆講師紹介

URL・SNS wing-wing.org  kidspress.net 



コーディネーター事例

事業名 花育・農育
実施時期 2012年～
対象 保育園／児童会館
内容 ・野菜の栽培、収穫体験
・フラワーアレンジメント
関係団体 JA宮崎経済連

事業名 公民館向け講座
実施時期 2019年～
対象 地域住民(子ども、子育て世帯)
内容 ・防災キャンプ講座
・音読／作文／レポート体験講座
・地域の人たち取材しよう
・料理教室
・音楽、絵画、工作、ボードゲームなど
関係団体 福岡市内公民館

コメント

NPO法人WingWingでは子ども達がたくさんの体験をし、地域社会と関わることで明るく未来を開拓していくことを目指し活動しています。地域に見守られながら社会を知り、人間関係を学び、安心して新しい挑戦に挑み、成長できる場を作っていきます。

映像制作を通じて広報に関わっていた経験と、イベント制作に従事していた経験を活かし、子ども達への体験活動の立案、広報、運営をお手伝いさせて頂ければと思います。

体験活動推進コーディネーター紹介



所属団体・自然学校 Blue Ship Wild Adventure
役職 代表

対応地域 北九州／京築 / 他、要相談

支援内容 ◆実施したい体験活動の相談や、プログラムを委託する実施団体との企画から実施までをスムーズにより効果的に行える様にサポートします。

主な経歴・資格 全国自然体験活動指導者NEAL、看護師、災害支援ナース、救急法赤十字ライフサポーターのライセンスを有する。年間に30回の自然体験プログラムを企画実施。災害支援活動、環境保全活動、講演活動を行う。福岡県築上町と共催で防災キャンプを企画実施。自然体験講師、防災キャンプ講師。

専門分野 自然体験、交流目的、社会奉仕体験、ボランティア養成、その他（防災アウトドア体験、発達障がいをもつ子どもたちへの自然体験サポート、講演）

URL・SNS Facebook: Blue Ship Wild Adventure / instagram: blueship_adventure

コーディネーター事例

事業名	TUNAGARU CAMP ～自然体験と防災キャンプ～
実施時期	2023年5月～12月（全3回）
対象	築上町町民及び京築住民の小中学生とその家族 約20名
内容	自然体験と防災キャンプのプログラムを企画、目的、効果が得られ様に3回シリーズで開催 1回目 キャンプや自然体験が初めてな方も参加しやすい日帰りキャンプを公園で開催 2回目 町営キャンプ場にて2泊3日のサマーキャンプを開催 3回目 町営の公園にて1泊2日の防災キャンプを開催
関係団体	築上町役場総務課 / メタセの杜 / 築上町社会福祉協議会 / 牧の原キャンプ場 / 消防 / 陸上自衛隊

コメント

コーディネーターとして、子どもたちを取り巻く環境が時代と共に変わってゆく中で、未来を担う子どもたちにとって今、自然体験や実体験を通じて豊かな心や生きる力を育むことの大切さ伝え、継続的な事業としての必要性を町長や職員の方とお話ししました。担当者とミーティングを行い、事業を企画実施できるマンパワーや予算の状況、どんな体験活動を実施したいか等の聞き取りを行いました。市町村の地域、自然、文化、資源でどのような自然体験プログラムができるかリサーチを行い何ができるかを考えました。ファミリーで楽しめる沢登りコースを開拓し、町の里山の文化に触れるワークショップを提案しました。実施後に担当者と振り返りを行い課題へのアドバイスや解決を行いました。今の現状でも無理なく体験プログラムが実施出来るようアドバイスや委託する実施団体と繋ぎ、企画から実施までスムーズにより効果的に実施できる様に調整やアドバイスやサポートを行います。

体験活動推進コーディネーター紹介



所属団体・自然学校 Blue Ship Wild Adventure

役職 代表補佐

対応地域 北九州／京築

支援内容 ◆自然学校 Blue Ship Wild Adventureでは専門知識を生かし、障がいのある子どもさん・保護者の方が安心して参加できる自然体験活動をお手伝いします。

主な経歴・ハーブ園勤務時代より自然体験と福祉現場をつなげる活動を始める。その後社会福祉士取得。福祉の知識を生かしながら心豊かな自然体験活動の場を提供している。

資格 社会福祉士・DWAT(災害支援福祉チーム)所属
ハーバルセラピスト、園芸福祉士
救急法赤十字ライフサポーター

専門分野 自然体験、交流目的、社会奉仕体験、ボランティア養成、その他（自然体験における発達障がい児のサポート、防災アウトドア体験）

URL・SNS Facebook: Blue Ship Wild Adventure / Instagram: blueship_adventure

コーディネーター事例

事業名	TUNAGARU CAMP～自然体験と防災キャンプ～
実施時期	2023年5月～12月（全3回）
対象	築上町民および京築在住の小・中学生とその家族 約20名
内容	自然体験の知識を学び、いざという時に役立つ技術を身につけ、日常の防災、災害時に生かす テント設営・テント生活体験、火起こし体験・アウトドア調理、森のトレッキング(災害時のデコボコ道を歩く体験となる)、沢登り(ライフジャケット着用、水辺の危険から命を守る知識)、防災講話(実際の災害支援現場の話を通して「災害が起きたとき」「日頃の備えや生きる大切さ」「家族の繋がり」について学ぶ)
関係団体	築上町役場総務課/メタセの杜/牧の原キャンプ場

コメント

ここ数年の間で社会の様相が変わり、実際(リアル)に人と会い接する機会の大切さを感じています。コーディネーターとして、まず地域住民の方に自分達が暮らす地域の豊かな自然について知ってもらいたい、そしてみんなで共に非日常の体験をし、助け合い、感動を分かち合う場を提供したいと考えました。森や川、夏の暑さや冬の寒さなどの自然環境の豊かさと厳しさを知ること、毎年起こる自然災害から身を守る技術また家族で防災について考えるきっかけになるプログラムを提案しました。プログラムには発達障がいのある子どもさんも複数名参加され、子どもさんも保護者の方も安心安全に活動に参加できるように必要な配慮を行い、自分で考えて行動する力、「やってみたい!」と挑戦する気持ちや「できた!」という自信を育む経験を大切にしながらプログラムを行いました。